



学 事 報 告

令和5年3月15日(水)

＜卒業証書授与式次第＞

- ＜卒業生入場＞
- 開式の言葉
- 校歌斉唱
- 卒業証書授与
- 学校長式辞
- 送辞
- 答辞
- 卒業生の歌
- 閉式の言葉
- ＜卒業生退場＞



台座は三つのかしわの葉。
台座の左右の花は梨の花。
上片桐・生田・大島の三地区が
一つのまとまったさまを表し
町の発展と松川中学校の将来
を象徴している。

I 在籍生徒数

学年	1年	2年	3年	合計
男子	57	59	50	166
女子	56	53	52	161
総数	113	112	102	327

II 学級数

	1年	2年	3年	7組	8組	合計
学級数	3	4	3	1	3	14

III 授業日数

	1学期	2学期	3学期	合計	給食日数
1年	74	82	47	203	198
2年	75	82	47	204	199
3年	75	81	47	203	195

※1学年は「旅行宿泊行事」、3学年は「修学旅行」による計画休業をとる。

給食日数は学年行事で欠食あり。

IV 進級・卒業者数

	男子	女子	合計
進級生	116	109	225
卒業者	50	52	102

V 職員数

※講師には町講師・教育支援員等、事務職に教員業務支援員を含む。育休職員は除く。

職員	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭補助	事務職	司書	栄養職員	調理員	用務員	活動調整員	合計
人数	1	1	23	6	2	3	1	1	5	1	7	51

VI 職員の異動

1 令和3年度末・転退任職員

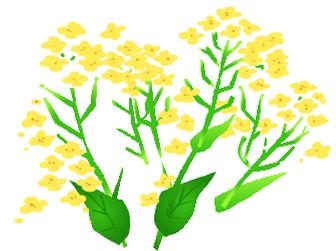
千野 憲一	箕輪町立箕輪中学校
久保敷晴子	高森町立高森南小学校
原田 大輔	下諏訪町立下諏訪中学校
松浦 三枝	中川村立中川中学校
小林 多久海	長野県飯田養護学校
細井 秀幸	飯田市立旭ヶ丘中学校
平澤 暁	飯田市立竜東中学校
宮坂 祐司	大桑村立大桑中学校
坪木 直哉	飯田市立高陵中学校
山田 空平	大町市立第一中学校
庄田 秀俊	飯田市立旭ヶ丘中学校
小平 澄江	松川町立松川中央小学校
松下 啓美	退職
堀田 理沙	退職（R4.1末）

以上14名

2 令和4年度・新任職員

橋倉 卓也	伊那市立春富中学校より
菅沼 則之	飯田市立緑ヶ丘中学校より
中川 雄介	飯田市立竜峡中学校より
原田 春海	豊丘村立豊丘中学校より
赤羽 美紀	阿南町立阿南第二中学校より
小林 亜友美	岡谷市立岡谷南部中学校より
上村 司	飯田市立竜峡中学校より
永井 真梨奈	高森町立高森中学校より・新規採用
村澤 俊樹	岡谷市立岡谷南部中学校より
井原 雅貴	飯田市立緑ヶ丘中学校より
宮内 智美	新規採用
西沢 美保	長野県飯田養護学校
木下 真澄	新規採用
平澤 紀子	新規採用

以上14名



3 育児休業職員

原山 千秋 佐々木由希野 小林亜友美

VII 学校教育目標

- 1 学校目標 「自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒」
- 2 めざす生徒像 ①夢や目標に向かって努力し、生き生きと学べる生徒
②集団の中で仲間と協調し、関わり合いを広げる生徒
③保護者や地域に信頼され、地域に元気を与える生徒

VIII 主な学校行事

1 儀式的行事

- ・入学式 4月 6日（水）
- ・始業式 4月 6日（水）、8月25日（木）、1月 6日（金）
- ・終業式 7月26日（火）、12月26日（月）、3月14日（火）
- ・卒業証書授与式 3月15日（水）

2 学芸的行事

- ・第62回松風祭 9月23日（金）

3 健康安全・体育的行事

- ・防災訓練① 4月11日（月）※緊急速報訓練・避難訓練
- ・交通安全教室 4月13日（水）※松川町交番所長様の講話
- ・スポーツフェスティバル 7月13日（水）
- ・防災訓練② 9月 1日（木）※水害発生時を想定した避難訓練
- ・防災訓練③ 11月 1日（火）※ストーブ設置時期に併せて避難・消火訓練



- ・健康診断 内科，歯科，眼科，耳鼻科，検尿，心電図，結核検診，血液検査，視力，聴力，発育測定等

4 旅行・集団宿泊の行事 キャリア教育

- ・1年宿泊学習 5月24日（火）～25日（水）
長野県阿南少年自然の家
- ・2年しごと☆未来フェア 2月8日（水）…町公民館他
- ・3年修学旅行 10月14日（金）～16日（日）
奈良・京都方面



5 その他

- ・保護者懇談会 12月8日（木）～14日（水）の5日間
- ・PTA活動（主な活動）※総会 4月28日（木）各教室からオンラインで（歓迎会なし）



- ※環境整備作業 9月3日（土）
- ※講演会（映画鑑賞） 9月2日（金）オンラインで
- ※松風祭制服リユース 9月23日（金）
- ※総会，送別会 3月予定→書面議決で（送別会は中止）
- ※PTA新聞発行
- ※交通安全

Ⅸ 教育活動

1 主体的・対話的で深い学びによって自らの考えを表現できる生徒の育成

「松中スタンダード」を基に，主体的・対話的で深い学びのある授業の中で思考力，判断力，表現力を伸ばし，自らの言葉で語ることでできる生徒の育成を目指してきた。1人1台タブレットを使った授業が2年目となった。今後もタブレットやICT機器の有効な活用方法を研究しながら，生徒同士が関わり合える授業，生徒にとって取り組みやすく，魅力を感じられる授業にするための授業改善に取り組んでいきたい。またSD（スケジュールダイアリー）ノートやタブレットを活用しながら，生徒が自ら学ぶ姿勢を育成するための家庭学習のあり方についても継続して研究を重ねていき，具体的な支援につなげていきたい。



2 教師の3Mを大切にしながら認め合うことができる集団づくり

生徒の良さを見つけ認め見とどけ（3M）ながら，心に寄り添う支援・指導を継続してきている。生徒会でも「翼～青空へ昇る希望の羽～」というスローガンのもと，日常的な当番活動や特別活動，松風祭等の取り組みを通して，学校生活の向上を目指してきた。

学級内でも定期的な生活アンケートやQ U等を行い，認め合い支え合える学級づくりやいじめを許さない体制づくりにいかしてきた。また，校内学習室や町相談室，保健室の利用とともに，スクールカウンセラー，Hug等のフリースクール，医療機関等と連携しながら，どの生徒も安心して過ごせる居場所づくりを進めてきた。



3 地域を知り、地域とかかわることで、ふるさと松川を愛する生徒の育成（地域との連携）

（1）キャリア教育の充実（地域コーディネーター，2学年）

町内や地域の企業に協力いただき，例年行っていた2年生の「職場体験学習」は，今年度も実施できなかったが，昨年からは始まった「しごと☆未来フェア」を2月に開催し，企業や地域の方からしごとや生き方について学ぶことができた。また，2月の「座談会」では「職場体験学習」や「しごと☆未来フェア」でお世話になった皆さんに学んだことを伝えたり，語り合ったりしました。



（2）てらこや事業（地域コーディネーター）

地域の講師による補充学習。基本は週1回の「水曜てらこや」や夏休みと保護者懇談会中に行う「てらこや松中」がある。学習プリントの用意などでは，学校職員もかわりながら，学力を上げたいという生徒の希望に応じてきた。



(3) ボランティア（ニコボラ）活動（地域コーディネーター）

地域コーディネーターが公民館や町社会福祉協議会、町おこし団体等が行っている活動を紹介し、ボランティアを募集した。積極的に複数回参加した生徒も多く、学期ごとに校長室で表彰。参加した生徒からは、やりがいを感じたという感想も多い。

(4) 学校支援ボランティア活動（松中サポーターズ会議）

今年度から松中サポーターズ運営協議会（地域コーディネーター、公募メンバー）を設置。

※今年度、中学校の教育活動をサポートしていただいた学校支援ボランティア

- ①「本の読み聞かせ 朝の読書の時間」 地域有志の皆様（年6回実施）
- ②「体育・部活動指導」 部活動指導員、外部コーチの皆様
- ③「保健行事・健康教育」

校医、歯科医、薬剤師、下伊那日赤病院の助産師、町保健師、町栄養士などその他、多数の学校教育活動が、地域の方々、町教育委員会のご支援・ご協力により、推進できている ことに感謝している。



X 表彰（部活動 北信越大会以上出場）

陸上クラブ 光澤 琥珀 中体連北信越大会 女子2年100m出場

XI 教育施設・設備の工事・修繕・寄贈等

1 施設の工事・修繕・寄贈について

①学校施設環境改善交付金事業等

- ・LED照明取替工事
- ・玄関スロープ設置工事
- ・多目的トイレバザー設置工事
- ・調理室給湯設置・改修

②学校保健特別対策事業等

- ・アルコール等

③寄贈品

- ・ごぼとん井 松川町ごぼとん井協会様
- ・卒業生用コサージュ 木下水引（株）様
- ・大谷翔平ポブルヘッド人形 日本航空電子株式会社様 等



2 公費支出

全学年のテスト代金・3年生修学旅行バス代金・中体連参加費を公費（町予算）支出

松川中学校校歌

作詞 藪田 義雄
作曲 松本民之助

一、 美わしき梨の花
町をめぐりて来し方も
今もゆくても輝かしわれら
伊那谷の青空を背に
誇あり誇あり若人われら

二、 とりよろう山脈は
町をめぐりて念丈の
岳を見さくる遙けしやわれら
伊那谷の雪霜に耐え
誇あり誇あり若人われら

三、 美わしき松川は
町をめぐりて春秋を
常にうるおす明らかやわれら
伊那谷の産土に立ち
誇あり誇あり若人われら